



Honjo Rotary Club weekly report

Rotary International District 2570 Group 4

No.50-11 第2396回 例会 2012年9月20日(木)

卓話

会長 橋本恒男 会長エレクト 矢島淳一
副会長 萩原達夫 中島高夫 五十嵐敦子 幹事 澁澤健司
2012~13年度国際ロータリー会長 田中作次
第2570地区ガバナー 鈴木秀憲

進行: SAAチーフ 坂本雄一
ソング: それでこそロータリー

点鐘: 午後12時30分 橋本恒男 会長
童謡: 赤とんぼ

〔会長挨拶〕

橋本恒男 会長



皆様、こんにちは。お彼岸に入ったのに暑い日が続きます。暑さ寒さも彼岸までということわざもある通り、あと幾日かで暑さも終わる事でしょう。風邪など引かない様、充分お気をつけ下さい。

本日の卓話者をご紹介します。第2570地区 職業奉仕部門委員長 細井保雄様です。本日は職業奉仕について卓話をいただきます。

先週のガバナーの公式訪問では、会員の皆様に多数ご出席いただき、ありがとうございました。例会に引続き、クラブ協議会では有意義な発表をいただき、各委員長様には感謝申し上げます。

又、要所ではガバナーの講評もいただき、大変盛り上がったクラブ協議会が出来たと思います。引続き行われたガバナー、ガバナー補佐を囲んでの懇親会にも多数の会員が出席してくださり、ありがとうございました。

10月18日に本庄早稲田駅の東側のマリーゴールドの丘に県の補助金を得て植栽事業を行います。昨日、清香園の阪上会員、担当委員長の茂木聡会員、幹事と私と4人で打ち合わせを行いました。現地に山桜30本、エゴノ木20本、計50本です。エゴノ木は、白いとてもきれいな花が、シーズンには咲くそうです。4~5年経過すると、本庄の名所になると確信しています。

又、昨日は4Cのゴルフコンペが行われました。参加した方は大変ご苦労さまでした。

本庄RCからは杉山さんと長谷川さん女性2名が参加され、華やかに行われたと報告を受けております。

本日は例会終了後に次年度の中井ガバナーエレクトの問題について協議したいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。本日も宜しくお願い致します。

〔幹事報告〕

澁澤健司 幹事



1. ガバナー事務所より公益財団法人 麻薬・覚せい剤乱用防止センターより、ニュースレター ナウ8月号がきておりますので回覧致します。
2. 米山記念奨学会よりハイライト米山9月号が来ております。
3. 埼玉県北明るい社会づくりの会事務局より「明社だより」が来ております。
4. ライラデー開催のご案内が2570地区鈴木秀憲ガバナーより届いております。日時は11月25日(日曜日)10時点鐘、紫雲閣で行います。
5. 本庄ボランティアセンターより「レッツボランティア」の9月号が来ております。
6. 本庄市社会福祉協議会より「ハート&ハート」の社協だよりが来ております。
7. 国際ロータリー2570地区より2013年RI国際大会のご案内が来ております。日時は2013年6月21日~6月26日リスボンとなりますので多くの方のご出席宜しくお願い致します。

8. 緊急のクラブ協議会を例会開催後すぐに行いますので全員の出席宜しくお願い致します。

【卓話】

2570 地区 職業奉仕部門委員長 細井保雄 様



ロータリーの原点は職業奉仕

皆様今日は、行田さくら RC より参りました細井保雄と申します。職業奉仕部門委員長を務めております。

職業奉仕部門は、職業奉仕委員会と高校生社会体験活動委員会の2部門で校正しております。高校生社会体験活動委員会では、貴クラブの五十嵐敦子様に委員長を務めて頂き、大変お世話になっております。さてもう一つの委員会、職業奉仕委員会では、クラブ版『我等の生業』の寄稿を広く募っております。本年度のテーマは鈴木ガバナーの掲げる「自分と自分の職業のレベルアップ」です。皆様には是非こぞってご寄稿賜りたいと存じます。

本日は、「源流の会」会長、田中毅先生の講演「奉仕理念 原点と未来展望」という講演に基づいて、社会奉仕理念・職業奉仕理念・4つのテストについて、ロータリー創立当初からどのようにこれらが発生・変遷してきたのかをお話し申し上げます。

ロータリーには2つのモットーがあります。

一．社会奉仕のモットー

Service above self (超我の奉仕)

一．職業奉仕のモットー

He profits most who serves best (最もよく奉仕するもの、最も多く報いられる)

そしてこれらより派生したと思われる「4つのテスト」があります。

ロータリーの創立当初は、親睦と物質的互惠主義のみを目的とした団体でありましたが、その後アーサー・フレデリック・シェルドンによる、修正資本主義に近い考え方の経営哲学「職業奉仕理念 He profits most who serves best」を導入したことにより、ロータリーは大きく発展しました。その後訪れた世界恐慌においても、ロータリアン企業はいち早い回復を遂げました。

そしてその頃まで、驚かれる方がいるかも知れませんが、Service above self (その頃は Service not self) は、職業奉仕のモットーとして使用されていたことが明らかになっています。その事は、「Service not self」を唱えたフランク・コリンズと「He profits most who serves best」の A・F・シェルドンが、両者の整合性をすり合わせる

打合せを行なったことから明らかです。1921年の国際大会で、「Service above self」「Service not self」「Service before self」を廃止して「He profits most who serves best」に統合しようという提案もありました。この頃は、上記4つが同じ目的、つまり職業奉仕理念のモットーとして同義語と捉えられていたわけでした。

しかしその後、「Service above self」は1937年の国際大会におけるウィル・メーニア Jr.や、1954年のRI会長チェスレー・ペリーなどによって「他人を思いやり他人のために尽くす」という意味で使用されるようになり、人道主義、つまり社会奉仕理念への転換が行われ、現在に至っております。

有名な決議 23-34 ではロータリーの奉仕理念の明文化が行われました。

「ロータリーの奉仕理念 = Ideal of service」とは「利己的な欲求と利他の心の葛藤を和らげる人生哲学」と定義し、「超我の奉仕 = Service above self」は「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる = He profits most who serves best」という実践理論に基づくものである、というものでした。

4つのテストは、当初は今皆様が日本語で唱和しているものとはニュアンスが違い、純然たる会社再建の指針でした。ハーバート・テラーは倒産寸前のクラブ・アルミニウム社を再建する際に、再建のスローガンとして「4つのテスト」を用いたもので、シェルドンの経営哲学に基づいたこの4つのテストは、あくまで会社再建や経営の指針で、日常生活で使用すべきものではありませんでした。厳密に訳すと、以下のようになります。

1. Is it the truth?

事実かどうか?

2. Is it fair to all concerned?

全ての取引先に対して公正かどうか?

3. Will it build goodwill and better friendship?

信用を高め取引先をふやすかどうか?

4. Will it be beneficial to all concerned?

全ての取引先に利益をもたらすかどうか?

上記で述べてきました「He profits most who serves best」「Service above self」「4つのテスト」全てが、当初は職業奉仕理念に則ったものであった事がわかります。

そして最後に、ロータリーが近未来に到達するための責務として「変えてはならないもの」「変えなければならないもの」について考えます。「変えてはならないもの」はロータリーの奉仕理念、「Service above self」とその基である「He profits most who serves best」です。また「変えなければならないもの」は「RI、地区、クラブの管理運営」そして「奉仕活動の実践」です。これらは時代の趨勢にあわせて変えていかなければなりません。

「変えてはならないもの」である決議 23-34 が、RIによって時代に合わないものとして手続要覧やロータリー章典から除外されようとしたことがありましたが、多くの日本人会員がこれに反対をしました。そして2010年のシカゴでの規定審議会で「10-182 社会奉仕に関する1923年の声明の第1項を奉仕哲学の定義として使用する件」は圧倒的な指示を得て採択されることとなりました。



〔ニコニコBOX 報告〕

職業奉仕部門委員長 細井保雄 様（行田さくら RC）
「本日は、お世話になります。」

橋本恒男

「本日例会後、クラブ協議会を開催致します。出席のほど宜しくお願い致します。」

飯塚明男

「健診の為、早退させていただきます。」

「職業奉仕部門委員長 細井保雄 様。本日は卓話宜しく
お願い致します。」

橋本恒男 洪澤健司 関根 貢 金井澄雄 岡崎正六
矢島淳一 八木茂幸 五十嵐敦子 下山正男

〔出席報告〕

会員数	出席免除 会員数	出席義務 会員数	出 席 会員数	出 席 率
73名	5名	68名	39名	57.3%

次回プログラム発表

9月27日（木）PM6：30～第4例会（夜間例会）
長沼カウンセラー・留学生・ホストファミリー来訪

広聴広報委員会 山田喜一・笠原 勝・福島正美・関口礼子

例会日 毎週木曜日 12:30～13:30
事務所 埼玉グランドホテル本庄700号
〒367-0041 本庄市駅南2-2-1
TEL 0495-22-7522 FAX 0495-22-3571

例会場 埼玉グランドホテル本庄
Eメール honjorc@themis.ocn.ne.jp
ホームページ
<http://www.globals.jp/hp/HRotary/index.html>